

する体制ができたのではないかと思います。

また、基礎づくりの部分では、曾於南部畑地かんがい事業や長田地区の水田ほ場整備、町内全ての小中学校に地上デジタルテレビ・校内LANの整備を実施いたしました。

そのほか、野方地区を拠点とし、企業間交流を促進する『大崎ものづくりネットワーク振興会』が発足し、将来の農業・教育・産業の活性化に大きく寄与するものと期待しております。

私事ながら、本年は大崎町長として十年目を迎えるという節目の年になりました。併せて、かねてから待望しておりました新たな総合計画がスタートする年でもあります。この計画は、住民の皆様からのご提言のほか、ふるさとに対する愛情や熱い想いが込められており、本町の今後十年の進路を指し示す強力な羅針盤になるものと期待しております。

こうした節目との巡り合せに、新鮮な気持ちで新年をスタートすることができたと同時に、これまで種

蒔き、芽を出した取り組みを一つひとつ結実させなければならぬと改めて決意したところでございます。

私が思うところは、一つ課題を解決するたび、また別の課題が出てくる、行政における課題の解消は、永遠のテーマであるということです。しかし、今できることを一つずつ、確実に積み重ねていくことが理想への近道と信じています。

スポーツや商工観光振興、野方IC設置推進、子ども達のにぎわい溢れる環境づくりなど、理想とするまちへの道はまだまだ半ばでございますが、大崎町民の英知を結集し、果敢に挑戦を続けてまいります。

最後に、町政に対する皆様のご協力に感謝いたしますとともに、新しい年が希望に満ちた明るい一年となりますことを心から願っております。

二〇一一年、兎の年がさらなる飛躍の年となりますことを祈念しまして年頭の挨拶といたします。

大崎町長 東 靖 弘



▲志布志湾岸フォトコンテスト
応募作品『名馬の育成』
大崎海岸